

△ サイズ等は、おおよそです。

*Size & etc are about.

壁掛けマニ車・D X Hanging Mani Wheel Deluxe

H 210, W & D 107mm.



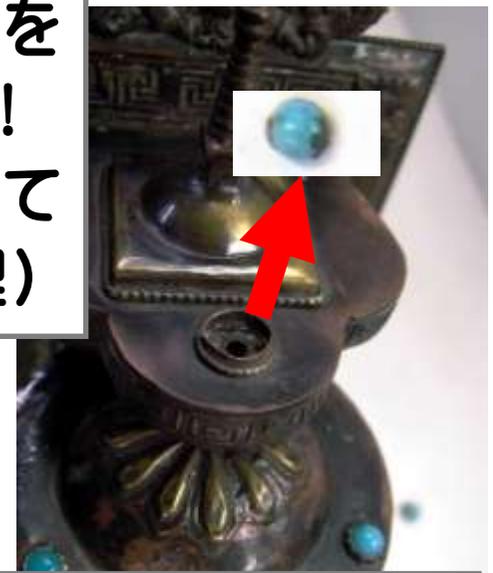
分解できず、力尽くで外そうと、筒下を
抑えて持ち上げると、上の水珠がポン！
と外れ、穴 発見。棒を穴へスライドして
筒を外しました。(水珠はボンドで修理)

裏・壁釘の差込口 5~6mm
Back side, Hole 5~6mm

I forcibly pushed cylinder to up side.
Light blue bead flied and I found hole.
I moved center's iron stick to up side
and I could remove the cylinder.
I glued blue bead.



手前に①ストウーパ(卒塔婆)、
奥側に②狛犬らしき紋様。
on Front side ①Stupa,
on Rear side ②guardian dog.



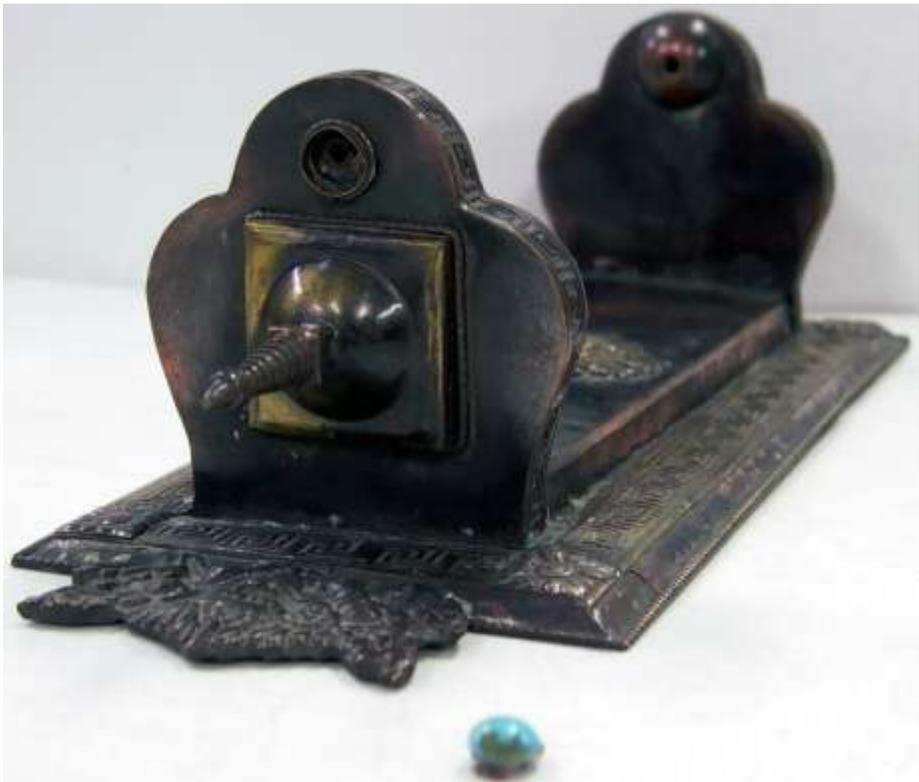


ラーメンマーク、もとい 雷紋。
Chinese Meander (Thunder)

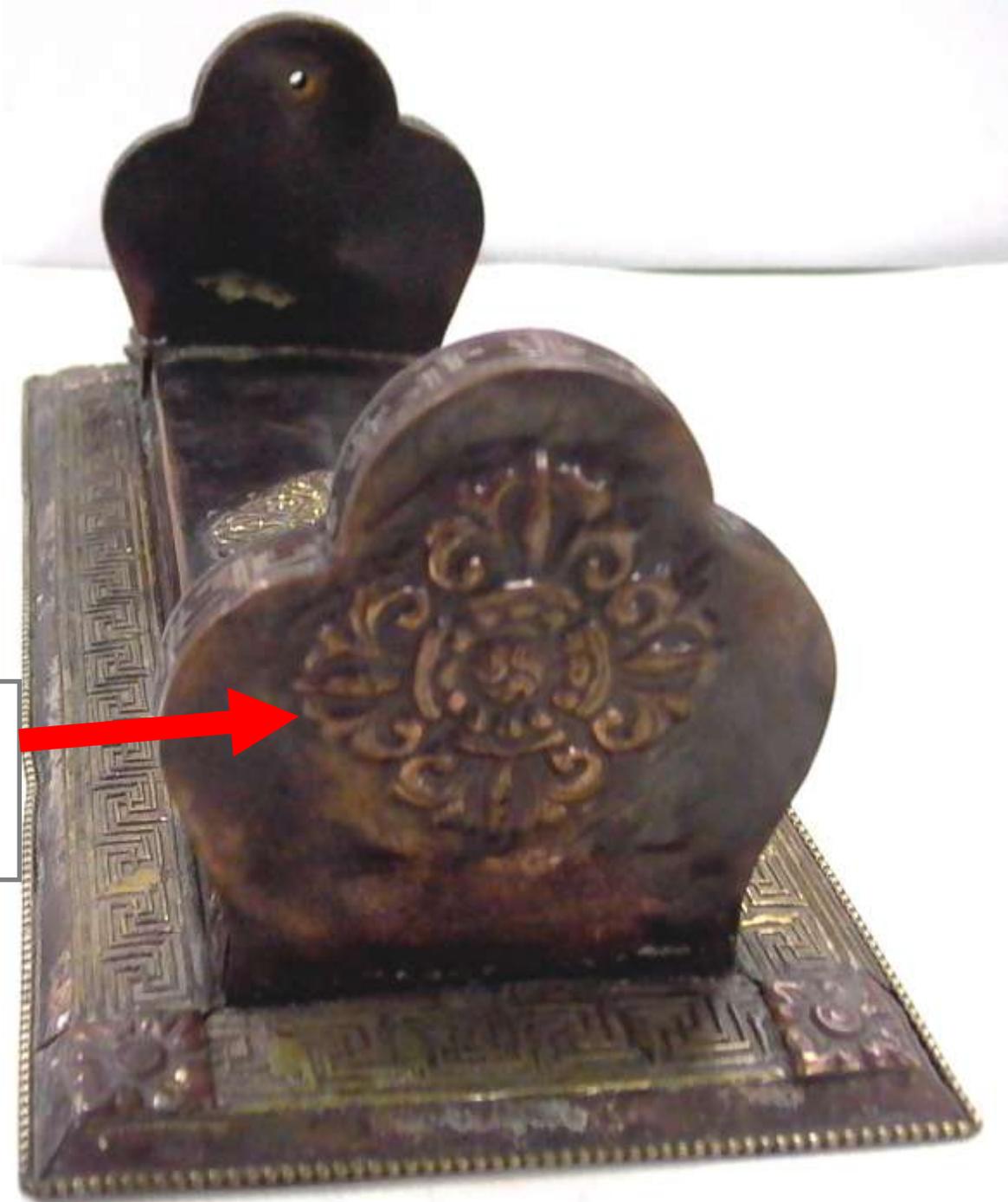


羯磨(かつま)?
Vishva Vajra?



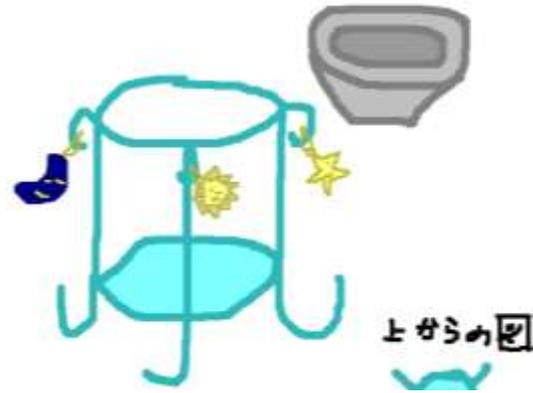


羯磨(かつま)?
Vishva Vajra?





(^_^)「このコラムは、実在するアニメ・漫画等とは一切、関係ありません！」
(>_<)「無理 ありますよねえ？！ …その文言は本当に必要だったの？」
(^_^)v「元がゲームの企画…。採用されたらOPに入れるはずでした。」
(-_-) (…なんだ、使ってみただけか…。)
(^^)「ガン○ムの各キャラに、他のアニメ等のキャラを配役する部門、ロボの胴体に着せる一般的な服を提案する部門、お針子さんがプラモ用の服を作る部門、モテラーがロボに服を着せる部門等、考えていたのだけど…」
(-_-)「素人の生半可なプレゼンでは、企画が通らなかった訳ね…。」



()番号=新製品 = 2003年 秋”

=エキゾチック・オイルバーナー=

III

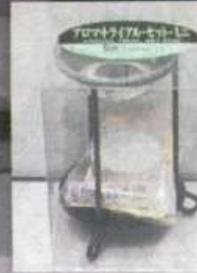
⑤

IV

⑥

⑦

DX



①

ミニ

II

II・B

アロマブームで人気だったアロマポット、エキゾチック バーナー シリーズ。

月・星・太陽の飾り付き、オサレな初代 I。飾りを廃した黒い太陽、II。

「浅い皿だと、水がすぐに蒸発する。」と苦情を受け、深底皿に変更した II・B。

インテリア路線のIIIとIV。高級路線、真鍮製DX。簡易 量産型「ミニ」。シリーズ通し、皿がフィットしない事はシバシバ、柴犬。その苦労は廃盤まで続き、後には大量の皿が残りましたトサトサ、土佐犬。ステン皿を捨てんとしたら、「勿体ない！」と取っとしたのが功を奏。

塗料は送料サービス、ヨドバシさん。(他だと運賃が合体)プラモもヨドさ

ん。無いものはアマゾンさんか駿河屋さん。人形は中古をこれまたアマさんか駿さん…って、関係ないですね。

(^^) …金の切れ目が円の切れ目。無い金は出せぬ…。

(-_-) もっと、やりたいネタもあったんじゃないの？

(T_T) ユニコーン+白キ○ア, バンシィ+黒キ○ア, フェネクス+サー○ル, ナラティブ+か○ん ちゃん。赤ザ○+ナ○, ムサイ+マ○アさん, エルメス+ハ○テ, ガルマ専用グフ+ヒ○ギク, ガウ+ツ○コミ要員…。」

(-_-) 「多すぎる…、というか、脇にチョコマカ出てくるのは何なの？」

(^_^)v 「月刊 少○ 野○くん の某編集さんが好きな夕又○みたいなモノ！」

(^_^)「巻き込まれる形で、ガ○ダムに搭乗したMさんですが、逃げた
先で偉い人に怒られるのであります。」



「Why did you ride on G?ndam!? Death penalty! Death penalty!!
On G?ndam, I ride!!」

(なんで私に黙って○ンダムに乗っちゃうの!? 死刑よ、死刑!
ガ○ダムには、アタシが乗るのっ!!)

《after 2month...》
(2ヶ月後…。)

「Enemy come!」
(敵襲!)



(>_<) 「戦車がひっくり返ってますが、中の学生は大丈夫なんですか!?!」
(^_^)V 「ヤ○モト ヨー○な世界観で、撃破された瞬間に安全な所へワープ。」
(-_-) (何、その便利設定…。)
(^^) 「…首とか もげるとアレなので、頭がやられたらヘルメット、腕なら
小手、脚ならブーツが外れる設定。ただし胴体がやられたら、即消滅…。」
(>_<) 「美しい光が…」

「This ship was not approved by Congress and was made.
Top secret ship...I vexing but must praise Zxxxn...」

(この艦は、議会を通さずに作った極秘艦…。

悔しいけど、ここを突き止めたゼノン軍を褒めないかね…。)



「All hands, Battle Situation! Engine Start!
(総員、戦闘 態勢！ エンジン スタート！)」



「Yes, Sir! Mani Wheel Start!
(了解！ マニ ホイール始動！)」

「'Goddess Class Battleship TIAMAT'. Oh, too long name.
From now, this ship is AMAT. AMATO, Take Off! 」
(地母神級 航宙戦艦、ティアマツト…。一長いわね。
今から、この艦はアマトとするわ。アマト発進！)



「From outer space, Enemy come!
Super Big size!!」
(宇宙より、敵 接近!
超巨大サイズです!)



Oh my god! Incompetent General...!

He failed brocking New weapon!?

(何ですって！？ 大口 叩いておいて、あの無能…！
敵の新型 破壊に しくじったわね！)



MA-DO-HOU, Stand-by!!

(魔導砲、スタンバイ!!!)





地球に降下したゼノン軍が発掘した、ゾ○ド軍団。
改造が間に合わず御者のいないまま、無人の状態で出撃。
ターゲットの新造戦艦を前にして、全機がガ○ダムに撃破された。

どこから どう見てもアンバワリ ambawari じゃない。
戦場の主役になれない。戦局だって変えられない。定刻通りに到着しない。
ため息つかれる程、戦果が出ない。ほめられる事、ありえない。
兵器 開発者も、夢 見やしない。その働きが、思い出されることもない。
だけど、スクラップ・ゾ○ド、無駄じゃない。捨て石のゾウ軍団。
結構、パーツ取り出来るんだぜ。